

デザイン教育、創造性向上の為に授業開発調査

工学部附属ものづくり創造融合工学教育センター 飯田晴彦

1. はじめに

工学部でのものづくり教育は全国的にもまだ始まったばかりで、多くの大学で試行錯誤されています。意匠科を持つ大学であっても、その他の工学系の授業との連携がどうされているのか、今後どう進めてゆくのか不明な点が多く、他大学の動向を調査し、熊本大学工学部として有効な教育プログラムを作成する必要があります。工学とデザインは切り離されて考えられがちですが、これから求められる人材は工学的そしてデザインに関する知識を持ったエンジニアと考えられます。なぜなら、中国、韓国、周辺諸国、また南米の国々との技術競争には、創造性が不可欠と言えるからです。デザインを学ぶことは創造性を育む訓練であり、実際に手を動かしてモノを作ることにより、座学で学んだ理論を応用、実践する体系的な理解を深めることになると考えます。

ものづくりの現場では絶えず試行錯誤を繰り返し、そのことが経験の積み重ねとなって行きます。デザインを学ぶことは経験が無ければ不可能です。五感を使った教育によって創造力を豊かにし、競争力のある人材育成を目指します。

2. 概要

調査した範囲では、ものづくり教育を行っている大学においてデザインを取り入れているところは山口大学だけでした。創造性の育成という意味では本学で取り組んでいる授業開発の方向性は良いと考えられます。デザイン調査では市場の動向等、現実の世界で教育にフィードバックできる事象の導入を検討しています。

大阪大学工学部工学研究科知能・機能創成工学専攻見学

大阪大学工学部工学研究科知能・機能創成工学専攻細田耕助教授の協力を得て、約一年を通して、ロボット研究開発の現状を見学した。3DCADを使用した設計と製作を行っており、細田耕助教授からは、デザインの持つ役割が大きい事を感じているとお話があった。

日本デザイン学会 第53回研究発表大会

創造性を育成する工学教育の実践など、デザイン創造論を中心に聴講。他大学の取り組みを調査。

「ものづくり創成教育シンポジウム2006」

— ものづくり教育におけるプロダクトデザイン教育の導入 —

山口大学ものづくり創成センターの主催で発表は、大淵先生が授業概要紹介、学生3名が「プロダクトデザインを取り入れた創成教育」の成果発表、飯田がパネルディスカッションのパネリストとなりました。山口大学の取り組みを調査。



第4回目の開催となる「ものづくり・創造性教育に関する取り組みに関するシンポジウム」

名古屋大学の取り組みと創造工学センターを見学。創造性教育、ものづくり教育について討議。名古屋大学で行われている創造性授業の内容の説明を受ける。

TOKYO DESIGNERS WEEK 2007 見学

神宮外苑を中心としたデザインイベントで、去年あたりから大学の積極的な参加がみられる。今まではデザイン系の大学が多かったが、慶応大学等の参加もあり、大学でのクリエイティブワークの発表の場になっている。

東京、横浜 MM21 デザイン調査

デザイン授業に参考になるような、建築、製品デザイン調査。今回は表参道ヒルズを中心に調査。

博多、天神周辺デザイン調査

定期的に電器店や、デザインショップをまわり、デザイン情報の収集。